

● Photo sketch ●



1/12 交通事故死ゼロのまち

土岐市で「交通死亡事故ゼロ2年間」が達成され、多大な貢献をした交通安全協会土岐市支部に多治見警察署長より感謝状が贈られました。同支部は、高齢者大学「はなの木大学」での啓発や、デイサービス施設などへの訪問活動など、主に高齢者を対象として、交通安全啓発活動を進めてきました。

鈴木支部長は「交通事故は被害者も加害者も不幸になる。今後もさまざまな機会、多くの人に声掛け活動をしていきたい」と話してくれました。



1/13 お茶の心は思いやりの心

妻木小学校で「抹茶教室」が行われ、5年生児童57人が参加しました。児童らは、昨年実施された作陶体験で自分の抹茶茶わんを作成しており、今回はその茶わんを利用してお茶をたてる体験をしました。

参加した児童らは、お茶をいただく際は隣の方に「お先に」と言うことや、器を12時から3時の方向へ2度回転させ、器の正面で飲むのを避ける事など、一つ一つの動作を真剣な様子で学んでいました。



1/15 安全で豊かな森林を

土岐津中学校で国土交通省多治見砂防国道事務所などの協力の下、総合的な学習「森林を守る」が行われました。災害に強い森にするための森林整備などを学ぶこの授業は、昨年11月から計3回にわたって行われました。今回のテーマは、樹木の安全な切り方。木を切り日当たりを良くすることで、他の樹木がしっかり根を張り、土砂崩れが起これにくくなることを学びました。伐採後、照度計で実際の明るさを確認するなど、森林整備の重要性を実感していました。



1/17 新春の駄知を駆け巡る

第31回駄知町一周駅伝大会が行われました。小学生男子や中学生女子など6部門にエントリーした32チーム、243人が快晴の中、新春の駄知町を走り抜けました。

また、スタート・ゴール会場の駄知体育館では、駄知町の同年会「友輪会」が還暦記念としてオニオンスープやコーンスープなどを振る舞い、走り終えた選手や観客の冷えた体を温めていました。



12/22 中学生、市長と語る

文化プラザで、中学生を対象とした「市長と語る会」が初めて開催されました。市内6つの中学校の生徒会代表12人が、各学校での取り組みや自慢できるところなどを発表したほか、将来の土岐市に必要なことなどをテーマに市長と意見交換を行いました。

生徒らは「自分の夢である職業が土岐市にはないので、将来は市外に住むと思う」、「これ以上発展せず、自然環境の良い今のままがいい」、「交通安全に力を入れた町になるといい」といった提案をするなど、未来の土岐市のまちづくりについて、中学生ならではの視点で真剣に話し合いました。



1/10 大きな夢と希望に向かって

成人式典が文化プラザで開催され、新成人539人が出席しました。式典の進行は新成人の代表12人によるもので、中学校生活を振り返るスライドショーの上映や、中学校時代の恩師へのインタビューなどが企画されました。恩師からは「今頑張ったことが必ず将来の糧になる、ぜひいろんなことに挑戦を」、「過去や遠い未来のことを考えるのではなく、今を大切に生きてください」など、教え子を思った温かい激励の言葉が贈られました。

Voice

今日の日を一つの区切りとして、大きな夢と希望を持ち、社会に貢献できる人材となれるよう努力していきます。これまで支えてくださった皆さん、本当にありがとうございます。若い力を胸に、これからも夢に向かって挑戦し続けます。



成人式実行委員長 渡邊純一さん

